

## JAバンク鳥取ちょきんぎょカップ 第22回鳥取県U-10サッカー大会 大会要項

- 1：主 旨 たくさんの子供たちにサッカーの楽しさを知ってもらい、サッカーを通じて多くの人々と交流を深め、サッカーファミリーとして夢を持ち続け、心豊かな人間となってくれることを目的とした大会である。この目的のため、サポーター、指導者が魅力・模範となるような応援マナー、指導を表現する研修の場とする。
- 2：名 称 第22回鳥取県U-10サッカー大会
- 3：主 催 一般財団法人鳥取県サッカー協会
- 4：共 催 JAバンク鳥取、新日本海新聞社
- 5：主 管 一般財団法人鳥取県サッカー協会第4種委員会
- 6：後 援 鳥取県教育委員会
- 7：協 賛 なし
- 8：協 力 一般財団法人鳥取県サッカー協会第4種委員会中部地区委員
- 9：日 程

### 【地区予選会】

- 東部地区予選会 9月7～8日（土、日）[CWSP球技場]
- 中部地区予選会 9月7～8日（土、日）[東郷運動公園多目的広場]
- 西部地区予選会 9月7～8日（土、日）[伯耆町総合スポーツ公園]

### 【鳥取県大会】

- 開催日：9月21日（土）～9月22日（日）
- 会 場：湯梨浜町東郷運動公園多目的広場、湯梨浜町東郷湖羽合臨海公園天然芝

### 10：参加資格

- (1)「参加チーム」は、開催実施年度に公益財団法人日本サッカー協会（以下「JFA」）第4種に加盟登録したチーム（以下「加盟チーム」）であること。
- (2)上記「参加チーム」の構成は、単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は年間を通じて継続的に活動していること。
- (3)「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する小学校4年生以下の選手であること。
- (4)引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。また、内1名以上がJFA公認コーチ資格（D級コーチ以上）、公認サッカー審判員資格（4級以上）を有すること。
- (5)「参加選手」は健康であり、且つ保護者の同意を得ること。

### 11：参加チームとその数

「参加チーム」は、各地区から選出された全20チームによる。  
地区の内訳 東部地区8チーム、中部地区4チーム、西部地区8チーム。

### 12：大会形式

- (1)グループリーグ：出場20チームを5チームごとの4グループに分けリーグ戦を行う。
- (2)グループリーグにおける順位の方法は、勝利3点、引分1点、敗戦0点の勝点制により、勝点の多い順に決定する。なお、勝点の合計が同一の場合は、以下の項目に従い順位を決定する。
  - ① 全試合の得失点差（総得点－総失点）

- ②全試合の総得点
  - ③当該チーム同士の対戦成績
  - ④抽選により決定する。
- (3) 悪天候等自然条件によって、大会実施が出来ない場合は以下の方法により上位進出チーム及び代表チームを決定する。  
抽選により決定。抽選方法は事務局が決定する。

1 3：競技規則 開催実施年度のJFA「8人制サッカー競技規則」による。

1 4：競技会規定

- (1) 競技のフィールド：ピッチサイズは原則68m以内×50m以内であること。
- (2) ボール：試合球は少年用4号球とする。
- (3) 競技者の数
  - ① 競技者の数：8名  
※8人に満たない場合は試合を開始しない。試合中に怪我等による人数不足により8人に満たなくなった場合には、そのまま続行する。
  - ② 交代要員の数：8名以内
  - ③ 交代を行うことができる数：制限なし  
※交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。
  - ④ 各試合において、登録選手全員に15分以上の出場機会を与えること。
- (4) 役員の数：ベンチ入りできる役員の数：3名以内
- (5) 交代の手続き：以下
  - ① 交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。
  - ② 交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
  - ③ 交代はボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。  
注) ただし、交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。
  - ④ 交代について、主審、補助審判の承認を得る必要はない。
  - ⑤ ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。
- (6) テクニカルエリア：設置する  
※その都度ただ1人の引率指導者のみが戦略的指示を伝えることができる。
- (7) 競技者の用具：ユニフォーム
  - a. 大会実施年度のJFA「ユニフォーム規程（平成29年2月1日施行版）」に則る。ただし、施行前の規定を適用することができる。また、色彩の異なるアンダーシャツ、アンダーパンツについては、審判員および運営者と対戦チームの許可を得た上で着用することができる。
  - b. 選手番号については、事前のエントリー表に試合ごとに選手番号を記入し個人を特定する。
  - c. ユニフォームへの広告表示についてはJFA「ユニフォーム規程」に基づき承認された場合のみこれを認める。
- (8) 試合時間  
試合時間は30分（前後半各15分）とする。

ハーフタイムのインターバル（前半終了から後半開始まで）：原則5分間

(9) 審判員 主審1名と補助審判員1名の計2名にて行う。

(10) その他

- ①審判員および運営者が協議し両チームが了承した上で、暑熱下において前・後半中程に飲水タイムを採用することができる。
- ②負傷者の対応：主審が認めた場合のみ、最大2名の役員がピッチへの入場を許可される。

15：懲罰

- (1) 本大会は、本協会「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。
- (2) 大会規律委員会の委員長は当協会第4種委員長会長とし、委員については委員長が決定する。
- (3) 本大会期間中に警告を2回受けた選手は、本大会の次の1試合に出場できない。
- (4) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に次の1試合に出場できず、それ以降の処置については規律委員会において決定する。競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
- (5) 本協会諸規程および本記載事項にない事例に関しては、大会規律委員会にて決定する。

16：大会参加申込

- (1) 1チームあたり 20名以内（帯同審判員を含む役員4名まで、選手8名以上16名以内）とする。
- (2) 参加チームは、所定の用紙に必要事項を記入の上、各地区の大会担当者へ送付すること。

17：参加料 なし

18：選手証

各チームの登録選手は、JFA発行の選手証（写真を貼付したもの）を持参すること。ただし写真貼付により、顔の認識が出来るものであること。

※選手証とはJFA WEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。

19：表彰：以下を行う。

- (1)各グループの優勝チーム：トロフィーおよび表彰状を授与する。
- (2)ベストサッカーファミリー賞：表彰状を授与する。  
サッカーにかかわる全ての人たちを大切にしたい気持ち『リスペクト』の精神を、本大会を通じて選手、指導者、サポーターが一体となって理解し、「グッドマナー」を表現し「さわやか」な印象を与えたチームを対象としてサッカー協会指導委員会が主導して選出する。なお、選出にあたっては、グリーンカードを提示された回数をもとに参考にする。このため審判には積極的なグリーンカードの提示をお願いする。
- (3)キャッチフレーズ賞：表彰状を授与する。  
サッカーを楽しむ気持ち、大会に臨む意気込み、目標等を五七五のキャッチフレーズに

する。サッカーにかける気持ち等を素直に表現し試合中に体現できたチームを対象として選出し賞を与える。

- 20：エキシビジョンマッチ 『各チームのリーダー』の選出とその対抗戦を行う。  
その技術や姿勢で、正しく、強くチームをリードする選手を、対戦相手チームの監督の投票により選抜する。各チームより得票の多い選手1名を選び（フィールドプレーヤー20名）、ゴールキーパーについては、4名を技術委員会により選出する。選抜した24名を2チームに分けエキシビジョンマッチを行う。
- 21：交通・宿泊 各チームにて対応すること。
- 22：傷害保険 チームの責任において傷害保険に加入すること。
- 23：応急処置  
リーグ開催中に疾病・障害が発生した場合、大会側は応急処置のみを行うものとする。
- 24：その他  
(1)会場使用については、会場責任者に説明を受け、マナーを守って使用すること。  
(2)本要項で掲載されていない事項や不測の事態が起こった際には、第4種委員会にて協議し決定する。

以上